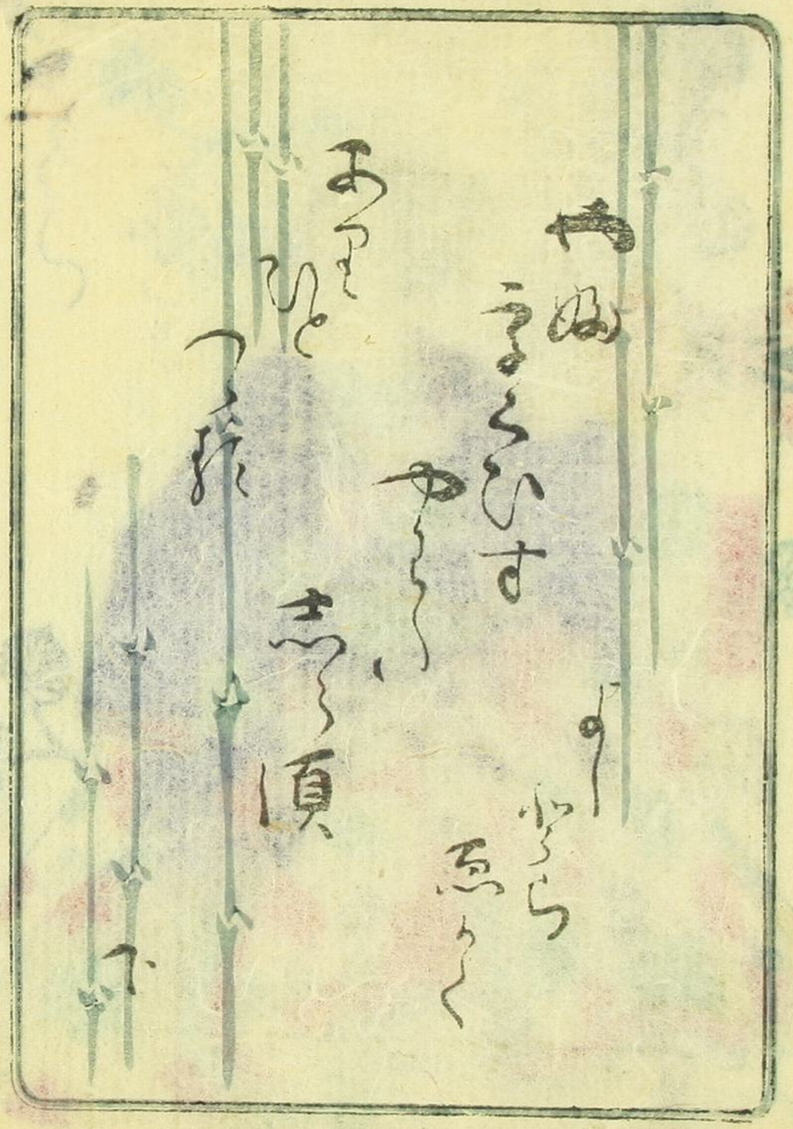
初竹廓上

初竹廓下

A399



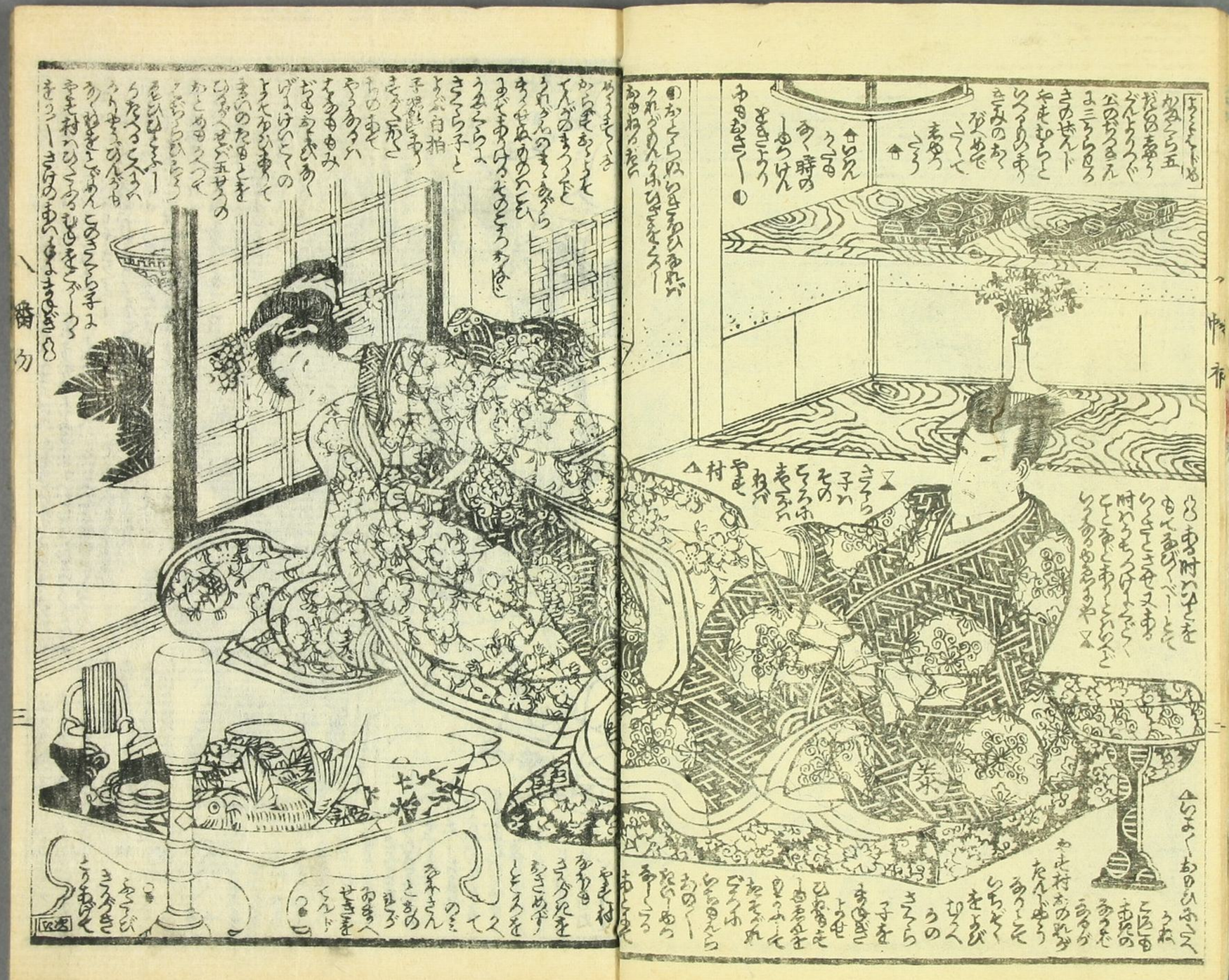
48-7616

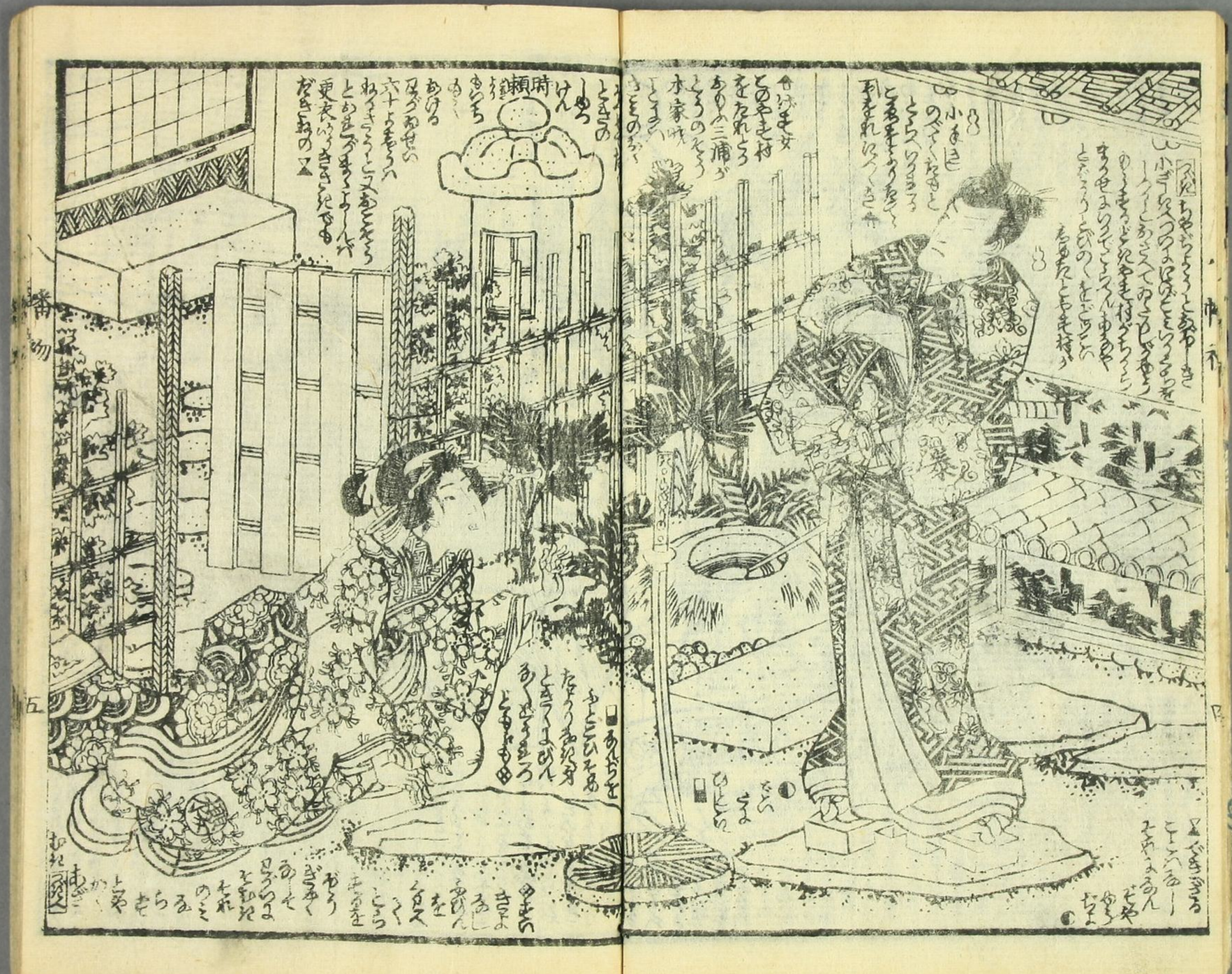
時頼禪門諸國を經歷爲あふの事件。鐘が淵の音ふ聽八幡の藪の不知者。例の假名本より繰りて扇の骨の兒童迄。分解疾とゝ訳ひゐしが。要石の肝要と做公が一世の行大ふ。艶氣といふものゝ曾てゆられば。賢固み倦みん欲と。些少蛇足を添れば。何ぢゝ彼ぢゝの混交ぜる。脚色惑突れ。後竟る。嗚呼忠臣の男子あれが最真恕の女子ありて。自然なる勸懲を示せる條の多ろれば。御高評を冀ふと。面白かるべき吉條を此端書に代て記す

明治三庚午晩春福成
同　四辛未初春新板

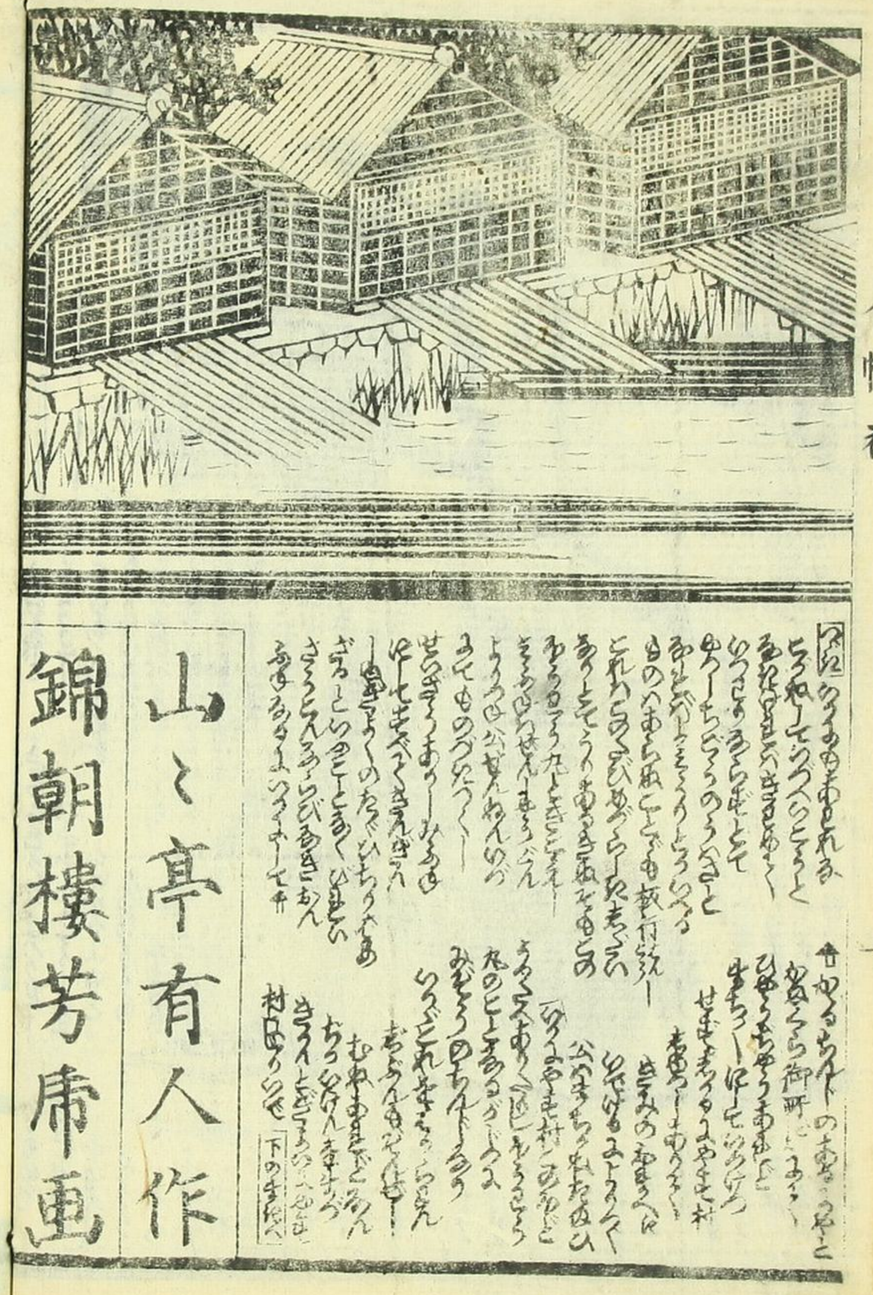
山く亭有人

孝女松子後ハ禪門公之侍女
拾浪
姫臣
氏井力太夫
北條相模守時頼後ハ内山最勝寺ノ開祖ニ成リ道崇禪門と号せり人呼テ内山公ゆゑ禪門公と称す





のとさろ山
朋安



山〻亭有人作
錦朝樓芳虎画

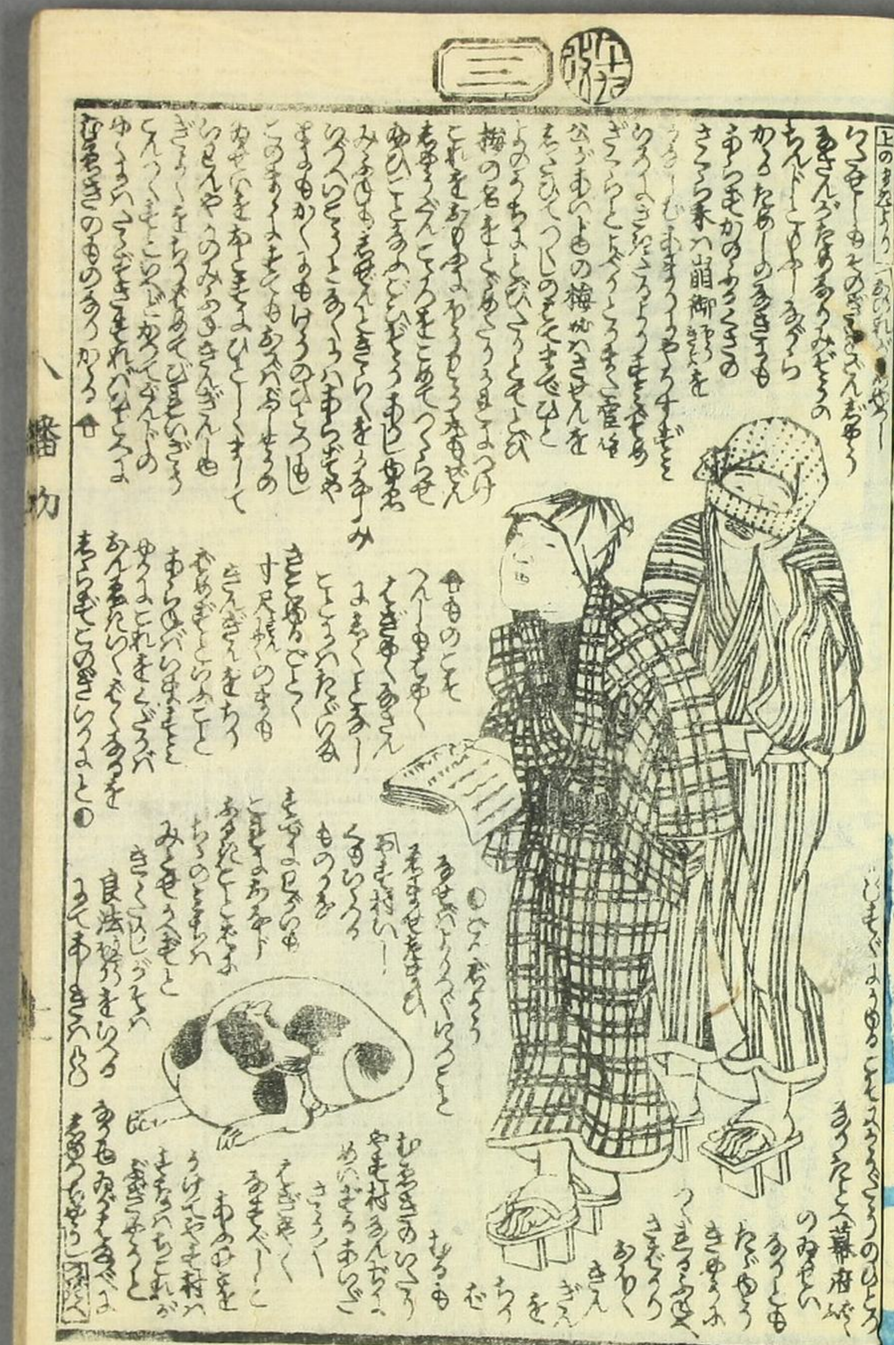
本家
實母散
さんぜんさんご
ふとんちのみち
四のめ
中橋南傳馬町東側
千葉堂孝輔製

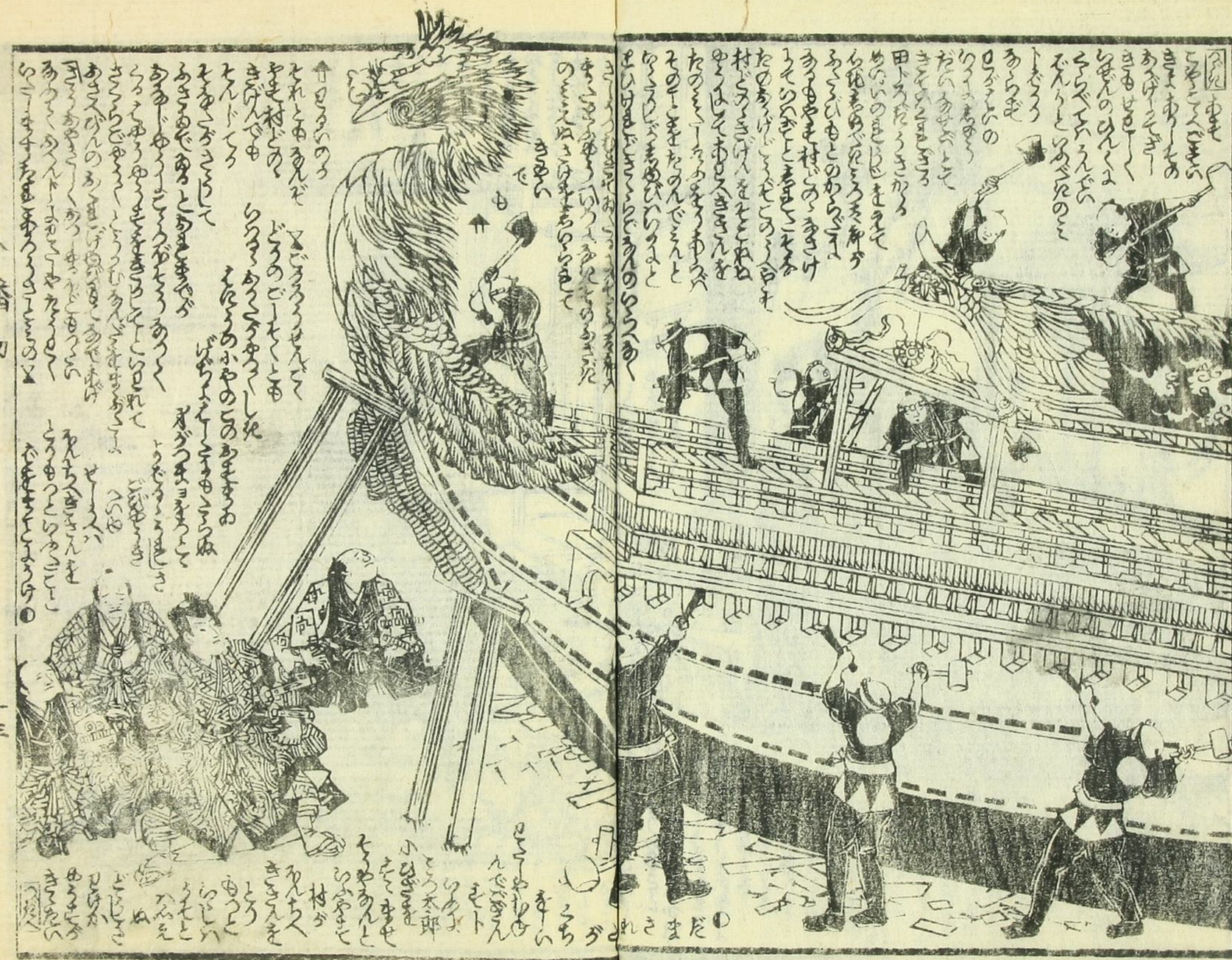
柳蔭月朝妻　六編迫出板　山〻亭有人作　梅朝樓國貞画

藪黄鶯八幡不知　五編迫出板　山〻亭有人作　錦朝樓芳虎画

阿玉ヶ池櫛月形　初編ヨリ追々出板　山〻亭有人作　陽斎豊國画

地本綿繪團扇問屋　紅英堂　蔦吉





是より下五下
のつぎは
櫻子が述懐
と引合て見
たまへ

禪門時頼公
難波新町の遊君あづま
後淀屋辰五郎が妻とある
禪門公淀屋辰五郎
物語を此所に引
あげて重ねて

010190518553

有人作　芳席画

明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年嶋田　八編　十九編　春水作　國貞画

室町源氏胡蝶卷　廿三　種彦作　出板　國貞画

鼠祠通夜譚　八編　種彦作　出板　國貞画

童謡妙々車　二十九　種彦作　出板　國貞画

薄倭幼日記　廿迫　春水作　出板　國貞画

七福神葛飾譚　十迫　種彦作　出板　國貞画

新局九尾傳　十三　春水作　出板　國貞画

筆海四國聞書　十三　種彦作　出板　國貞画

明鴉墨画錦襠　十九　種彦作　出板　國貞画

花封答玉章　十編　種彦作　大尾　國貞画

八犬傳犬の反紙　五十九　柳亭作　出板　國政画

南傳馬町壹丁目　蔦屋吉藏板